



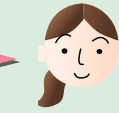
須賀湊の絵。今の港と比べてみました

特集 わたしたちの地区の自慢

すごくにぎわった 須賀湊

えどじだい うんそうぎょう ちゆうしん
江戸時代は運送業の中心

豆記者



伊東 眞由子



高石 鈴香



山宮 京佳

平塚海岸がある平塚地区。そこには昔、須賀湊という大きな港がありました。わたしたちは須賀湊のことを知りたくて、相模川の河口に行ってきました。

た荷物がいっぱい集まる港でした。船を使って運ばれてきた荷物は、米、炭、まき、木材などです。荷物は須賀湊に集められ、ここから江の島や浦賀などを通じて江戸に運ばれました。須賀湊は神奈川県中央(昔は相模国といわれました)の運送業の中心だったんです。



須賀湊の石碑の前で、いろいろ聞いたよ

須賀はすごくにぎやかな場所だったんでしょうね。須賀には今、平塚漁港があります。おいしい魚がたくさん集まる平塚漁港は、わたしたちにとって大切な場所です。でも、魚だけではなく、いろいろな荷物や情報

ここは相模川の河口。川の流れば湘南の海へと続いていきます。見渡すと、釣りをしてる人や犬の散歩をしている人がちらほら。こんなのかな場所に実は昔、須賀湊というすごく栄えた港があったんですよ。

多くの荷物を運ぶため、船もいっぱい集まりました。使われたのは主に「高瀬船」や「地廻り小廻船」と呼ばれる船でした。高瀬船は幅約三メートル、長さ約十メートルの小型船で、川を行く船でした。地廻り小廻船は最大で六十トンも積める船で、荷物を積んで海を移動するのに使われました。六十トンって、すごい重さですね。

も集まった須賀湊は、きつともっとも大切な場所だったんだろうなと思って思います。



石碑にはなんて書いてあるのかな？

わたしが住んでいる土地の地名の由来

平塚地区

- 黒部丘 (伊東眞由子)
春日神社の元宮・黒部宮があることからつけられました
- 夕陽ヶ丘 (高石鈴香)
夕日がきれいな砂丘というイメージからつけられました
- 虹ヶ浜 (山宮京佳)
虹が見えそうなくらいきれいな浜というイメージからつけられました